

2022年 6月29日朝刊西部版

記事を読んで、問いに答えましょう。

① 工事現場の見学を児童に企画した目的は何ですか。

建設業の担い手不足を受け、児童に建設業の仕事内容や魅力を伝えようと企画した。

② 児童が見学した「浚渫工事」はどのようなものですか。記事の中から探して書きましょう。

川底にたまった土砂を除去し、石灰を混ぜ合わせて水分を減少させる工事。

③ 児童がその迫力に驚いたのはどんな作業ですか。

大型重機「クラムシェル」が大量の土砂をつかんで運ぶ作業。

④ 工事現場を見学することで児童の考えにはどんな変化があると思いますか。30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

**(例) 土木の仕事が身近になり、生活を支えてくれていると思うだろう。(30字)
 身近で行われている土木工事に興味を持つようになるだろう。(28字)
 土木の仕事に従事している人たちに感謝の気持ちをもつだろう。(29字)
 など**



工事現場を見学する村櫛小の児童たち
—浜松市西区

浜松市中区の山平建設 見学会(シニアサポーター)は27日、西区の宇布見公共ターミナルの浚渫(しゅんせつ)工事現場などの現場で、タワヤシ(シニアサポーター)と建設業の担い手不足を受け、児童に建設業の仕事内容や魅力を伝えようと企画した。

現場では、川底にたまった土砂を除去し、石灰を混ぜ合わせて水分を減少させる浚渫工事の工程を説明した。大型重機「クラムシェル」が大量の土

工事現場迫力に驚き

村櫛小児童が見学

砂をつかんで運ぶ作業も披露し、児童からは「すごい」「大きい」などと歓声が聞かれた。

このほか、土木の仕事を解説する講座や鉄筋の組み立て体験、浜名湖に架かる中之島大橋(同区)の補修工事見学も行った。中村光希さん(11)は「こんなに間近で見たのは初めて。ダイナミックな作業で驚いた」と話した。

(浜松総局・北井寛)

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/社会・技術・家庭・総合)

年 組 名前